

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	「体育及びスポーツの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供」出来るように各種利用団体と日程調整を行い、格闘技イベント、音楽イベントやファッションショーなど催物の場を提供し、「スポーツとにぎわいの殿堂」を発信する施設として運営を行っています。 (評価点：3点)	A	イベント誘致を引続きおこなうなど、利用増に向けた取組みを実施している。 ＜結果＞各種競技試合だけでなく、文化的イベントとして利用する団体の新規獲得ができた(e. x. 音楽イベント・ファッションショー)。 (評価点：4点)	A	
		②提案した管理運営方針に沿った管理	にぎわいのある催物及びプロ・スポーツ興行などの収益性のある行事を、積極的に誘致しています。 「する・見る・応援する」スポーツに府民が、気軽に参加出来る場を総合プロデュースし「スポーツとにぎわいの殿堂」として年間入館者数100万人を目指した安全・安心な管理運営を行っています。(2018年度81万人) 人権研修、個人情報保護研修等の研修を提案どおり実施。 (評価点：3点)		個人情報、人権、防災・安全対策等の各種研修を実施し、提案通り取組んでいる。 ＜取組＞個人情報管理研修、情報公開研修、人権啓発研修、職場から考える人権研修、防災訓練等を実施。情報漏洩や火災事件の発生なし。 (評価点：3点)		
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	知的障がい者の雇用、天神祭りでのボランティア清掃への参加等の社会貢献活動を行なっている。 桃山学院大学よりインターン（1名）を受入れた。(2019年5月からC-STEPへはH18年から加入している支援学校からは1名の雇用を継続している。 大阪府暴力団排除条例等に基づき、利用団体(者)の確認を行っている。(大阪府警照会件数：0件) (評価点：3点)		社会貢献活動、環境問題、法令遵守に取り組んでいる ＜取組＞・障がい者の清掃員雇用、インターンや職場体験の受入 ・清掃ボランティア活動の実施 ・適用法令一覧表及び年間実施計画を作成により情報共有し適正に実施している。 (評価点：3点)		
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	平等かつ、公平なサービスを提供するため、関係法令の遵守等グループ全体でコンプライアンスの徹底を行っている。年間の利用日程調整を行い利用団体へ通知し、年間利用計画を策定。また、HP等で施設予約情報や施設空き情報を掲載。直近のスポーツ大会、イベント情報などについてはポスター等を館内に掲示し情報発信を行う等サービスの提供を行っている。 (評価点：3点)	A	年間利用計画を策定し、HP等で予約状況を随時発信出来ている。また各種イベント情報等の発信にも努めている。 ＜取組＞予約状況や空き状況をHPで公開。イベント情報を館内及びHPにて掲示。 (評価点：3点)	A		
		②高齢者、障がい者等に対する配慮		障がい者団体の減免措置など配慮した体制を実施。ホームヘルパーの有資格者を雇用している。ホームヘルパー、ユニバーサルマナー検定の受講及び資格取得を奨励し、高齢者・ベビーカー利用者・外国人などの利用者へのサービス向上を行っている。 (評価点：3点)		高齢者・障がい者への配慮が図られている。社内研修等、スタッフの教育にも力をいれている。 ＜取組＞救命救急講習会、ホームヘルパーの有資格者の雇用 (評価点：3点)	
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	文化イベントへの誘致営業活動を積極的に行う。 (評価点：3点)	A	文化イベントを行う企業や団体に対して、積極的なアプローチをおこなっている。文化イベントの利用は増加しているが、さらに伸ばすことが出来るカテゴリーである。 (評価点：3点)	A		
		②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 平成30年度実績：810,640人 令和元年度目標：825,000人 9月末現在実績：360,000人		Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。季刊誌4回/年・343団体へ送付、行事予定表発行12回/年 施設入口と管理事務室前にデジタルサイネージを設置し当日の利用予定を掲出するとともにイベント、催し物の情報発信を実施している。 (評価点：3点)		季刊誌や館内のデジタルサイネージに加え、Facebook等のSNSを利用し、府民に積極的に情報発信を行っている。 ＜取組＞季刊誌(4回/年・343団体)の送付、行事予定表発行(12回)、Facebookの活用 (評価点：3点)	

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目 施設の効用を最大限発揮するための方策	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み	開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者ニーズに柔軟に対応している。 ・30年度 休館日開館予定：4日間（H29年度6日） ・チラシ、HPへのアップ、Facebookによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。 ・個人情報保護及び情報公開研修実施（H30.4）、人権啓発研修（H30.8）等の各種研修を提案どおり実施。 （評価点：3点）	A	休館日の開館や時間延長など利用者ニーズに即して、柔軟に対応した運営を行っている。 <取組>休館日の開館（1～2回/年） （評価点：3点）	A	
		②自主事業の取組み	指定管理者及び指導者としてミーティングを行い、改善点等の抽出を行った。要望及び指摘事項からバレーボール教室で使用のバレーボールの更新を行った。 （評価点：3点）		自主事業の改善点を抽出することで、利用者のニーズを察知し、サービス向上が図られることを期待する。また、一部の自主事業種目を入れ替えたことによる増収を予定している。 <取組>HOOPBOON、ZUMBA、バレトン等のフィットネス系の自主事業を開講 （評価点：4点）		
		③施設設備、機能の活用	施設設備、機能を十分に活用出来るようサービス向上に努めている。 ・競技場床の維持管理を行うにあたり、木製床管理者（日本体育施設協会）の指導の下、自主点検を行っている。 年1回の専門業者による点検を行っている。 ・スポーツ備品の点検を貸出時に随時実施している。 ・館内外巡視点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月1回の目視点検を実施している。今年度は、シャワー室のシャワーカーテンの更新を行った。 （評価点：3点）		施設設備の点検体制を整備している。また点検箇所によっては、適切な外部業者の指導の下おこなっている。設備の事故は発生していない。 （評価点：3点）		トイレの場所が分かりづらいので、案内図等の改善が必要である。
	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	設備点検年間予定表を作成し、維持管理を行なっている。 ・合同点検：事務所、設備、警備、清掃スタッフにより月一回の合同巡視点検（館内外） ・日常点検：設備による、日常点検やライフサイクルコストの低減を図っている。（年間修繕計画等） ・大阪府へ事業報告時に改善提案を行っている。今年度は、監視カメラの録画機能の追加を行った。 （評価点：3点）	A	設備点検年間計画により実施状況を府へ報告あり。また月一回の合同点検や日常点検など、定期的なメンテナンスが出来ている。また、基本修繕費の計画的な実施状況も報告があり、適正な維持管理に努めている。 （評価点：3点）	A	
		②施設設備の安全管理	利用者の安全を図るため利用前と利用後には、スポーツ用具等の数量や安全等目視点検を実施している。 （評価点：3点）		点検記録簿を作成し、日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図っている。 （評価点：3点）		
		③緊急時の危機管理体制	危機管理マニュアルを作成し、緊急時にも対応出来るようにしている。又、大阪府警とも連携を図りテロ対策パートナーシップ協議会に参加しテロ対策を推進している。浪速消防署・浪速警察署やとも連携を密にとっている。年2回の消防訓練を実施している。（今年度1回目9月実施3月予定）。地震・津波の訓練として大阪880万人防災時に利用者と協議し館内放送訓練を実施している。 （評価点：3点）		危機管理マニュアルが整備されている。管轄の警察・消防と連携することでテロ対策や防災に対する意識を高めている。年2回の消防訓練のほか、大阪880万人防災時にも訓練を実施。 （評価点：3点）		
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	季刊誌 1社契約 月間行事予定広告掲載枠 3社契約 デジタルサイネージ 2社契約 今年度受注 150,000円 （評価点：3点）	A	広告収入により、収入確保策の取組を行っている。 電照広告については新たな取り組みが必要である。 （評価点：4点）	S	
		②提案どおり実施されているか。	提案どおり収入確保を行っている。府への納付金142,900千円が見込まれる。 （評価点：3点）		収支計画どおりの納付見込みとなっている。 （評価点：3点）		

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	・ ESSO事業への協力 ・ 関西エコオフィス宣言に参加 (評価点：3点)	A	府や公益事業への協力の取組が図られている。 (評価点：3点)	A	
		②行政の福祉化の取組み	知的障がい者の雇用（清掃員6名） ・ 法定雇用率（2019年6月現在） 南海電鉄グループ 2.24% ミズノ 2.21% ミズノスポーツサービス 3.02% ・ C-STEP加入済み（H18～） (評価点：3点)		行政の福祉化は提案どおり実施されている。 当初提案に基づく雇用人数（6名）を継続的に雇用。 (評価点：3点)		
		③ 市民・NPOとの協働の取組み	南海電鉄が推進する文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」のスポーツ振興事業と協働し、沿線中学校で男子バレーボール部を直接指導する「堺ブレイザーズコーチングキャンプ by NANKAI」を体育会館にて開催(2019.8月実施)。・南海ビルサービスとして、南海電鉄と協働し、南海沿線の中学校3校に堺ブレイザーズの選手を3～4人平日のクラブ活動時間に派遣し、それぞれ5回ずつ指導。 地域の祭りへの協力 地域町会への協力 (評価点：3点)		グループ全体で府民等協働意識、取組がなされている。 <取組>南海電鉄が推進するスポーツ振興事業と協働中学校へのスポーツ選手派遣事業 (評価点：3点)		
		④環境問題への取組み	ESCO事業の推進。 ・ 環境へ配慮したグリーン電力を使用し、CO2削減に取り組んでいる。 ・ 親会社が府と「グリーンパートナー協定」を締結し「エコモーションなんかい」と銘打って、グループ企業全体で取組み実施。 (評価点：3点)		府のESCO事業を推進。また、電力量の見直しや節電対策にも積極的に取り組んでいる。 (評価点：3点)		
I 総括		7項目（28点満点）		A	7項目（28点満点）	A	

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 自主事業開催時にアンケート調査を実施予定。（2019.10月） 利用者満足度調査等のアンケートに実施し予定。（2020.2月） (評価点：3点)	A	大阪府が実施する利用者満足度調査への協力を行い実施、また自主事業開催時にもアンケート調査を実施している。以上の調査内容をもとに、利用者のニーズや改善点を把握し、満足度向上に努めている。 (評価点：3点)	A	
	②調査結果のフィードバック（PDCA）	上記アンケート結果を集計しフィードバックを行い利用者への柔軟な対応につなげている。 ・ ホームページへの行事予定の掲載日を対象月の前月の25日を日途に掲載するようにした。 (評価点：3点)		アンケート結果をもとに、改善等の柔軟な対応が図られている。 <取組>重点的な清掃、障がい者の補助、音響設備の使用説明等 (評価点：3点)		
(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 H30実績：4,033人、上半期実績：2,076人 R1目標：4,350人、上半期実績：2,300人 〔指標2〕自主事業収入状況 H30実績：6,786千円、上半期実績：2,342千円 R1目標：8,000千円、上半期実績：3,287千円	ミズノグループと協力し既存の各教室の充実を図った。（各教室の講師と綿密な打合せ等）夏休み！こども教室のイベントや忍者教室等、ミズノと協働し実施し、スポーツ教室を体験していただくとともにミズノからは足形測定等ミズノならではの取組みを行った。催物開催時にはNBS、ミズノの社内電子掲示板を活用、また受講者へは開催時にミズノグッズをお土産に提供した。 (評価点：3点)	A	指定管理者の構成企業と連携した新規の取組みによって、新規利用者を獲得している。また、積極的な情報発信により、多くの利用者に周知できるよう努めている。 (評価点：3点)	A	

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護マネジメントシステム自覚教育資料を使用し、テスト方式による研修を実施。 大版プリンターを利用しB1、B2大のポスターを印刷し自主事業、お知らせ等の告知に活用。 危険予知（KY）により、館内外に潜む危険箇所の抽出を行い注意喚起の掲示等を行った。 デジタルサイネージの活用により、利用状況の掲示だけではなく、様々な情報を発信している。 （評価点：3点）	A	新たなシステム（個人情報保護マネジメントシステム）や、また既存のツール（デジタルサイネージ）を有効的に活用した取り組みが出来ており、利用者のためになる有益なものになっている。 （評価点：3点）	A		
II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A		

III適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 （指標）R1収支計算書（プロポーザル） 収入：376,927千円、見込み：380,000千円 支出：234,027千円、見込み：237,100千円 納付金：142,900千円、見込み：142,900千円	事業収入及び見込み 《令和元年度：対プロポーザル比》 収入：101% 支出：101% 納付金：100% （評価点：4点）	S	R1年度の収入についてはプロポーザルを上回る見込みであり、今後に期待する。 （評価点：4点）	S	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	提案時の職員体制 非常勤社員2名、正社員7名、嘱託社員5名 パート社員7名、臨時職員2名、合計23名 （R1.9月現在） 非常勤社員2名、正社員10名、嘱託社員0名、 パート社員11名、臨時職員1名、合計24名 プロポ提案時に比較して、パート社員、正社員を増員している。 （評価点：4点）	S	「管理体制計画書」の職員体制に加え、現場の状況に応じて柔軟に職員を配置することで、安定的な管理運営体制をとっている。 （評価点：3点）	A	
		②管理監督体制・責任体制	<ul style="list-style-type: none"> 支配人を体育会館に常駐させ、経理部門、事業部門、維持管理部門全体を把握させ各部門の業務の調整を行なっている。 毎日1回スタッフミーティングを実施。お客様からの要望、施設の維持、イベント等について、情報の共有を行っている。 （評価点：4点）				
③指導育成、研修体制	個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、OJT（随時）など職員の育成、スキルアップに努めている。 （評価点：3点）	職員スタッフ研修を計画的に開催しており、職員育成に努めている。 （評価点：3点）					
(3)安定的な運営が可能	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤	事業者の運営基盤 南海ビルサービス株式会社 <ul style="list-style-type: none"> ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務 駅、鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務・建築物における各種設備の改造、修繕、取替工事の設計、施工および工事請負・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理 テレビジョン電波受信障害対策施設の設計、施工および維持管理業務 不動産の管理、賃貸借、売買および仲介 ビル・マンション等の管理 都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工、緑の維持・管理、緑のリース、フラワーショップの運営 高齢者専門宅配弁当事業 美津濃株式会社 <ul style="list-style-type: none"> スポーツグッズ、スポーツウェアなどスポーツに関わる製品の製造・卸売・販売 スポーツ施設の運営及び運営委託 各種スクール事業 ミズノスポーツサービス株式会社 <ul style="list-style-type: none"> 公共スポーツ施設（指定管理、運営委託、PFI）及び直営フットサルコート、フィットネス施設の管理運営 スポーツ教室、スクール、スポーツイベント・大会、出張健康・体力づくりイベント等の企画運営事業 （評価点：4点）	A	運営基盤は安定している。 （評価点：3点）	A		

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立体育会館		指定管理者：南海ビルサービス・ミズノグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
能となる財政的基盤	②法人等事業者の財務状況	2018年度財務状況 代表企業：南海ビルサービス株式会社 自己資本合計 7,060,804,051円 資産合計 13,321,877,445円 流動資産合計 9,949,724,944円 固定資産合計 3,372,152,501円 流動負債合計 6,152,228,740円 固定負債合計 108,844,654円 負債合計 6,261,073,394円 経常利益 1,028,911,860円 当期純利益 667,325,381円 美津濃株式会社 自己資本合計 73,695,000千円 資産合計 128,130,000千円 流動資産合計 60,063,000千円 流動負債合計 28,435,000千円 固定資産合計 23,966,000千円 経常利益 4,667,000千円 ミズノスポーツサービス株式会社 自己資本合計 785,973,317円 資産合計 2,068,004,815円 流動資産合計 1,053,418,481円 流動負債合計 1,024,234,713円 固定資産合計 1,014,586,334円 経常利益 円 （評価点：4点）	A	健全な財務状況である。 （評価点：3点）	A		
III 総括		3項目（12点満点）	S	3項目（12点満点）	A		